

流通科学大学 体育会 サッカー部



HANDBOOK 2021



流通科学大学

基本理念



ライフスキル教育

心を豊かに、自分らしく「生きる力」を身につけ、社会で貢献できるような人になってほしいと願っています。人には個性があります。個性は周りとの関わりによって作り上げられる大切なものです。自分を大切にし、仲間の「自分」も尊重することで共感性が高まります。仲間の良さを引き出すには自己理解と他者理解がとても大切になります。

本学では、生きる力に最も近いとされるライフスキルをスポーツを通して獲得し、社会を生き抜く力を身につけていきます。それには、礼儀作法や挨拶など基礎となるスキルの部分を広げ、その上に自主性、主体性を身につけ、自立できるよう学生中心で取り組んでいけるよう努めます。

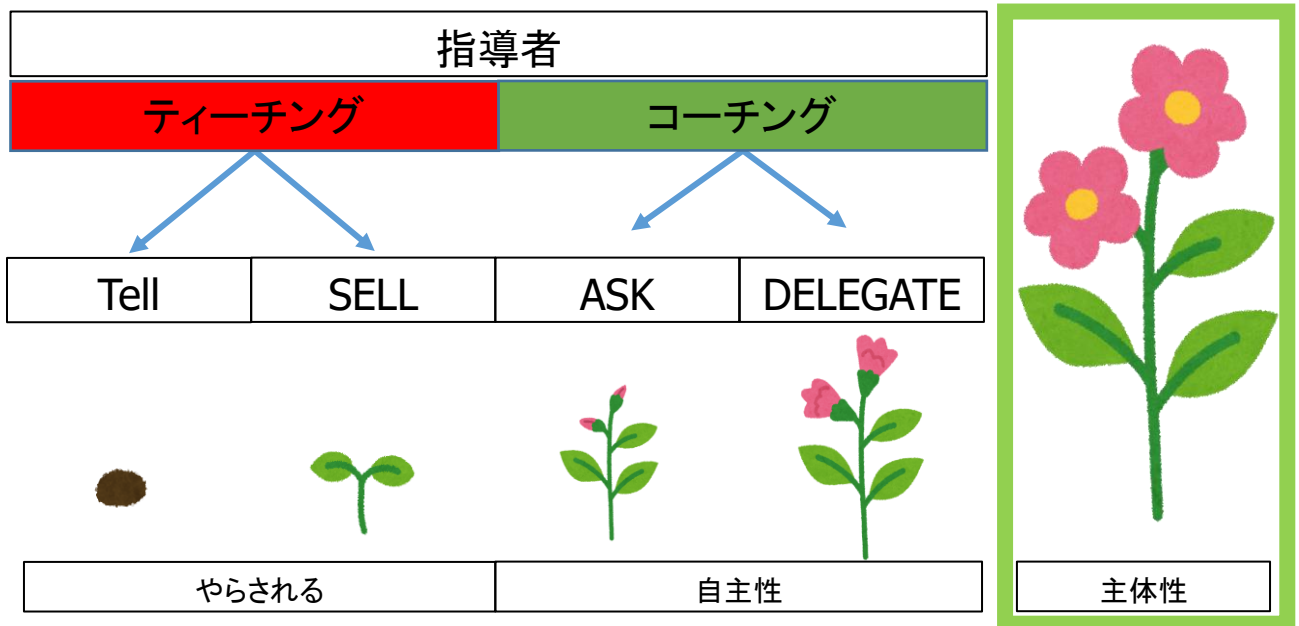
周りに感謝し、何かしてもらうことを待つのではなく、周りに何かを与えられるような人になってほしい願っています。

(ありがとうは天に届く唯一の言葉)



【主体性を高める】

私たちは学生が活躍できる場を数多く提供します。その活動は、グラウンドにとどまらず、社会の場で役立つ様々なプロジェクトに挑みます。そのためにも主体性を高めるべく、マイクロコーチングで学生の自主性を主体性へと変えていけるよう促します。





【スポーツパーソンの育成】

競技スポーツ(勝ち負け、日々の取り組み)を通して...

- ・粘り強く人生を生きる力を身につけていくこと。
- ・自ら周りを巻き込む新たな提案を発信し続けること。

私たちは不当に扱われても、体育会根性で乗り越え、先輩からの命令は考えることなく悪いことでも従うようなスポーツマンは育成しません。

これからは目標を掲げ、それに向け「粘り強くやり遂げる力」、そして脱体育会系で古い概念にとらわれない「新たな発想力」をいつも追求していくスポーツパーソンが求められています。

【グラウンドに「勝者」と「敗者」を作らない活動を！】



【スポーツパーソンシップ】

スポーツとは勝ち負けが存在するもの。勝ち負けを伴わないものはスポーツではないだろう。誰だって勝ち続けたいし、負けるのはとてもつらいものである。だから、サッカーを心から楽しんでほしい。仲間を大切にしてほしい。仲間とは味方はもちろんのこと、相手や審判も含むサッカーファミリーのことである。試合後は堂々としてようよ。

勝っても負けても互いに素晴らしい仲間と健闘を称え合おうよ。

勝って驕るな、負けて醜態をみせるな。

振り返るのはその後で良い。ピッチを去ってから。

スポーツはできることがもう奇跡。いつも社会からは後回し。

だからもっと人に感謝して、環境に感謝して、時間に感謝して。

「ナイスゲーム！ありがとう！」

勝者と敗者は結果だけが分けるもの。

ピッチには最高のゲームを戦った仲間だけが存在する。

試合後は勝敗を超えて健闘を称えあおう！

それが真のスポーツパーソンシップであるから。

流通科学大学体育会サッカー一部

監督 亀谷 涼

活動目標



わくわくする夢を持とう！

『2021年度 1部昇格へ！』

「夢は追い続けるもの

目標は叶えるもの」

【夢を実現するには】

目的＋夢に期限をつける

サッカーをやる目的を明確にしよう。

目的は“的”である。ブレない！

目標を目的に近づけるためのもの。

いつまでに達成するのか期限を決めよう。

そうすると日々の取り組みが理解でき、厳しく激しいトレーニングを継続できる。その積み重ねが目標達成に一步一步近づいていく。

Will Can Must



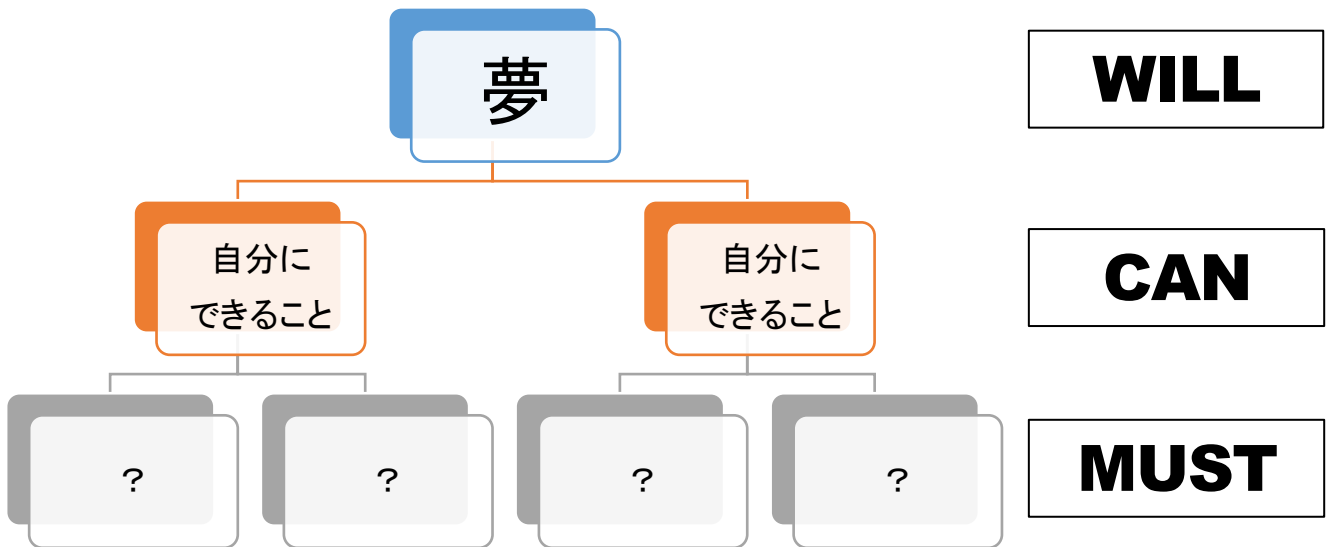
自分の人生を自分で彩りなさい

あなたが生きる(活動する)目的は？

どんなわくわくする夢(Will)をもとう！

夢の実現に向け自分にできること(Can)は？

実現に向け何をしなければならない(Must)？



目的がWill—Can—Mustを繋げる。

目的がない人は目標達成できない時点で折れる。

Mustから逃げる人は絶対にWillには届かない。

全員で粘り強くやり続けよう！

活動方針



“厳しく・激しく・楽しく”

2021スローガン

『粘活粘勝』

本学サッカー一部では、サッカーを心から楽しみながら勝利を追求する活動を行います。「楽しむ」とはへらへら笑いながらすることではありません。研ぎ澄まされた最高の状態で、素晴らしい相手と真剣勝負をする楽しさを求めます。また、勝つことだけに重きを置くのではなく、勝利の追求をすることで、努力を惜しまず、創意工夫をします。

学生スポーツは学生主導のもと運営がなされています。自分たちの手で運営しなければ活動は成り立ちません。グラウンドでボールをけるだけでは、学生スポーツにおいては足を引っ張る存在です。ボールをけるために様々な必要なこと（Must: ※前頁参照）があります。例えば学業、準備片付け、連盟への登録申請、会議への参加等やらなければならないことが学生スポーツには多くあります。それを無視して自分のやりたいこと（Will）だけを追っても、誰も助けてくれません。仲間にも入れません。そこに今年のスローガンである「粘活粘勝」が達成できません。

今社会ではやり抜く力（GRIT）が求められています。努力を惜しまず自分の可能性を広げていく姿勢は、先の人生において重要な指針となります。その上で、我々は活動方針に掲げてあるように、厳しく・激しくトレーニングを行い、組織で強い相手に打ち勝つ楽しさを求めていきます。

ライフスキルとは①



定義

「日常生活で生じるさまざまな問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力」

(WHO, 1997)

本学では、社会に必要な「生きる力」を身につけるべくライフスキル教育を実施しています。

月1回程度の全体MTで知識の獲得だけでなく、活動を通して思想にしていくこと、日常生活に般化することをめざします。

全体MT実施例

- ・フェアプレイの重要性
- ・スポーツパーソンシップを考える
- ・感謝する心を育てる
- ・考える力を身につける
- ・目標設定スキル 等

6. ライフスキルとは②



一流の指導者たちの実践的な経験をもとに見出した
アスリートに求められるライフスキル

目標設定

最善の努力

考える力

責任ある行動

ストレス
マネジメント

礼儀・マナー

コミュニケーション

体調管理

謙虚な心

感謝する心

(島本ほか, 2013)

アスリートに求められるライフスキルは全部で10因子です。ライフスキルと競技能力は比例しています。これらの因子をバランスよく高め、競技能力の向上に努めます。

ライフスキルは低いと絶対に勝てないことはありませんが、長い目で見た場合「**必ず負ける**」とされています。

スポーツの3大要素



1. 遊戯

- ・「遊び」から合意や決まりごとが設けられ「ルール」ができ、遊びはルールによって組織化され「ゲーム」となる。そのひとつが「サッカー」である。したがって楽しくなければ面白くない。また、より楽しむために作られたのがルールであり、ルール遵守は必ず守らないといけない。

2. 競争

- ・試合の相手を敵対関係にあるものとしてとらえず、相互促進者としてとらえるべきである。競争の語源: competitio (共同の努力) からもあるように、フェアプレイに徹しなければなりません。相手をリスペクトし、レフリーをリスペクトすることは、自身の力を最大限に発揮します。

3. 肉体的鍛錬

- ・同意されたルールのもとで、どちらが優れているかを互いに試しあうための、公平な機会で最大限の勝利を追求するための努力が求められます。勝負にこだわらないとスポーツではありません。しかし、そのためには、勝利だけを求めるのではなく、勝利の追求をすることが必要です。何でも勝てばよいのではない。スポーツパーソンシップに則りプレイすることが求められます。

(参考：広辞苑第六版)

部員心得 I



『己に克ち 礼に復る』(論語)

…自分の欲望に打ちかって人間として守るべき
正しい道に従って行動すること。

◆集合時間

- ・余裕をもって行動すること。ギリギリに来ることのないように。
これは道具や水の準備もすべて終わってさらに余裕を持てる時間帯を指す。
(下積みをどれだけできるか)

◆服装・身なり

- ・全員チーム指定のウェアでトレーニングすること。
- ・学生らしい身なりで行動すること(茶髪・ピアス・ひげをのばすなどはしない)。

◆欠席・遅刻・早退・休部

- ・遅刻・欠席の連絡の徹底(社会で通用しない・言語道断)
- ・休部制度は設けない。(特別な事情により再入部する際は入部金が発生する。)

◆学業

- ・4年間での卒業は最低目標である。前期・後期最低各16単位以上をとること。
半期で16単位未満の場合は次の半期間の活動停止とする。また、16単位以上でも各セメスターを下回っている場合は、上回るまで活動停止とする。1年生は前期のみ20単位以上を活動条件とする。学生生活において何を優先しなければならないのかをしっかりと考えること。そして、卒業後何をするのか、社会に出て自分がこれからどう生きていくのか将来のビジョンを自分で探していかなければならない。
そのために周りのアドバイスや知識を活用し学問を吸収していくことが大切である。

◆その他

- ・サッカーだけやっていたら良いという安易な考えでは、当然学生は務まらない。学業でも常に上をめざして取り組むことが大切である。これもサッカー同様最善の努力を行うことにつながってくる。頑張りには評価する。何事にも努力しない人は見切りをつける。一生懸命全力を尽くさない者にチャンスは巡ってこない。

部員心得 Ⅱ



◆ 役員構成

部の運営に下記の役員を置く

学生統括主務 1名

主将 1名

副主将 3名

主務 若干名(学連・リスペクト担当等含む)

副務 若干名

その他 各係りを担当する。(全員が関わる)
審判・分析・来客対応・総務・経理等

◆ チームの約束事

茶髪・パーマ・髭・ピアス等身だしなみだけでなく、公序良俗に反する行為等。

SNS等への部やその他の誹謗中傷、秘密漏洩。

喫煙、その他規律を乱す行為。

幹部会議での決定事項を守らない事。

※著しく部の名誉を傷つけたり、部の規則や方針を何度も乱した場合は除名する。

◆ その他

関西学生サッカー連盟の主催する行事(観客動員)は必ず出席すること。これは、本学サッカー部に所属する＝出席の義務があるということを理解すること。
また、学内の行事ごとやサッカー一部として学園が良くなるために率先して行動を起こせるよう努めること。

※部則を優先とする

協力企業一覧(順不同)

